

スポットライトは順々にあたる おもに3年生の皆さんへ

中間考査・文化祭が終わって、気が付くと、期末考査前。夏休みも、すぐそこまできています。クラブを引退した人もいるでしょう。

自己推薦入試のエントリー受付が始まりました。6月は、各大学が募集要項を発表する時期です。7月は、就職の求人票受付開始。9月には公務員試験…。



来年の3月まで、それぞれの進路希望に応じて、順々に、スポットライトが当たっていきます。あせることなく、自分のすべきことに取り組んで欲しいと思います。

授業中の真剣なまなざし。授業後の質問。生徒の皆さんの「本気」モードが、「団体戦」としての、「進路実現」を勝ち取る、大きな力となってくれます。

*

*

文化祭やクラブで、好きなことに夢中になれた体験は、次の進路実現のための頑張りとなって生きてきます。

クラブなどで、苦手なことを克服するために流した汗と努力は、次の進路実現のためのパワーとして働いてくれます。



文化祭やクラブで、仲間と向き合って頑張った経験は、「団体戦」としての「進路実現」の、大きな力となってくれます。

いつも同じことを言いますが、進路実現のための勉強に、何も特別なものがあるわけではありません。もし、それがあるとするならば、それは、本人の「こころの中」にのみ存在します。

大事なのは、授業を中心とした、机の前での「本気」の勉強です。

「予習—授業—復習」のサイクルを確立させていきましょう。

3つのポイント

1 生活時間の3点固定と「学習開始時間」の固定

「起床」「夕食」「就寝」時間の固定です。それと、「学習開始時間」「学習場所」「学習教材」の固定も大事です。

『恋人』（自分がこれと決めた教材）とは、『いつもの時間』に『いつもの場所』で、『デート』（勉強をすること）です。!(^^)!

2 まとまった学習時間をつくる

苦手分野の復習や問題演習には、時間がかかります。まとまった時間を作って、じっくり取り組みましょう。説明を読んで分からなかったら、翌日に、学校の先生に質問しましょう。

3 休日の時間を有効に

平日にできなかったことを、その週の週末にカバーしましょう。一週間の計画の遅れも、休日を利用することで、取り戻すことができます。無理のない計画を立てましょう。!(^^)!



眼をできるだけ遠くへ おもに1・2年生の皆さんへ

1年生の皆さんには、高校初めての定期考査と文化祭。どうだったでしょうか。文化祭で、いままで以上に、友達との仲が深まったのではないのでしょうか。また、高校初の定期考査の取り組みは、どうだったでしょう。

定期考査では、クラスや学年全体での「順位」が出ますが、そんな「順位」や、「平均点」と比べて、点が取れたとか取れなかったとかということよりも、日ごろの自分の勉強の姿勢を、見直す機会としてほしいと思います。テストの点数は、自分の取り組みを映す「鏡」です。



大事なものは、テストのあとの振り返り。やるべきことは、大きくは二つ。

□ あいまいな知識を見直そう！

答えることができなかった問題、使えるものとなっていなかったあいまいな知識を見直して、きちんと使える知識にしておきましょう。

□ 日ごろの時間の使い方を見直そう！

ふだんの学習の進め方、時間の使い方を振り返ること。「予習」—「授業」—「復習」の、学習サイクルは、確立しているでしょうか。

するべきことを、つい後回しにしてしまう、自分がないのでしょうか。「敵」は、自分を、つい裏切ってしまう弱い「自分」。自分より順位が上の、〇〇さんではありません。

*

*



また、この時期大切にしてほしいことは、「できるだけ先をみる」ことです。**自分の興味・関心のある学問や仕事は何なのかを考えると、その勉強や仕事ができる場所がどこなのかを見つけること。自分は、何のために勉強しているのか。**みなさんは、どれくらい考えられているでしょうか？

□ 自分の興味・関心のあることは何だろう？

□ 自分が好きな教科・科目は何だろう？

□ 自分は、大学や短大・専門学校で、どんなことを学んでみたいのだろう？

□ 自分は将来、どんな仕事に就きたいのだろう？

□ 自分は、何のために勉強するのだろう？

□ 自分は、何のために働くのだろう？

*

*

明確な目標があると、日々の学習への取り組み方も、変わってくると思います。その目標が、学校生活の「軸」となって、高校生活の元気の源となってくれるはずですよ。

「総合的な探究の時間」や、進路ホームルームなどで、自分の進路について、すこしずつ考えながら、日々の高校生活を大切に送って行って欲しいと思います。

進路資料の案内

職員室前（南側）の、進路資料を整理して入れる、**引き出し**を整理しました。

大学・短期大学・専門学校の、**オープンキャンパスの案内**を、該当学校の引き出しに入れています。

新しい「**入試要項**」なども続々と届いています。「入試要項」は、各学校の新年度の入試制度について書かれた、最も正確な資料です。**進路指導室**に見に来てください。